

神経発達症をともなう子どもの理解の視点

日時 2025年10月24日（金）13：00～14：30

場所 千里山キャンパス 尚文館 1階 マルチメディアAV大教室

講師 加戸 陽子（研究員、文学部教授）

2002年に文部科学省が実施した「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する全国実態調査」を契機に、教育の現場では「特殊教育」から「特別支援教育」への転換が進められ、神経発達症（発達障害）をもつ子ども一人ひとりのニーズに応じた教育の実践や、共に学ぶ教育体制の充実が求められるようになっていきます。

近年では、ドラマやドキュメンタリー、マンガなどのメディアで神経発達症が取り上げられる機会が増え、社会の理解や関心も高まりつつあります。しかし、神経発達症の症状には個人差が大きく、支援のニーズも多様であるため、必ずしも理解しやすいとは限りません。また、神経発達症にともなう認知面や行動面の諸特性は、周囲の関わり方や情報の提示方法など、環境の影響を受けやすいという側面があります。そのため、専門家による支援だけでなく、身近な人々や地域社会による理解が、当事者やその家族にとって非常に重要な意味を持ちます。

本講座では、社会全体として多様性への理解が求められる今、神経発達症をもつ子どもに必要とされる理解と支援の視点について、皆さんと共に考えていきたいと思います。

* * *

●聴講無料（定員200名／先着順）＜事前申込制＞

人権問題研究室ホームページ トップページ (<https://www.kansai-u.ac.jp/hrs/>) にある「新着情報」内の本講座案内ページの申込フォームから事前に受講申込をしてください。定員になり次第、受付を終了します。

空席がある場合に限り、事前申込をされていなくても聴講は可能です（当日会場にて参加受付を行います）。ただし、なるべく事前申込を行ってください。

* 手話通訳や介助者同伴等が必要な場合は、10月2日（木）までに人権問題研究室へご連絡ください。



主催 関西大学人権問題研究室

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 阪急千里線「関大前」駅下車

Tel 06-6368-1182 Fax 06-6368-0081

e-mail: jinkenken@ml.kandai.jp

ホームページ: <https://www.kansai-u.ac.jp/hrs/>



「新着情報」をご参照ください